

TRANSITION TO HEALTH (017)

ワクチンについて学ぼう ②

ワクチン先進国・アメリカに学ぶ

～ 86名の医師・学者らが署名した「ワクチンのすべて」その2 ～

前号に引き続き、International Medical Council on Vaccination（ワクチンに関する国際医学協議会）が制作したレポート”Vaccines: Get the Full Story”、の日本語版「ワクチンのすべて」（日本語訳：為清勝彦氏、渡辺亜矢氏）を紹介します。文中の太字、赤字、下線は丸山が強調したものです。



「ワクチンのすべて」より（その2）

★ワクチンは何種類あるのか？

・米国の子供がすべてのワクチンを受けると、最大35回の接種を行うことになります。それには

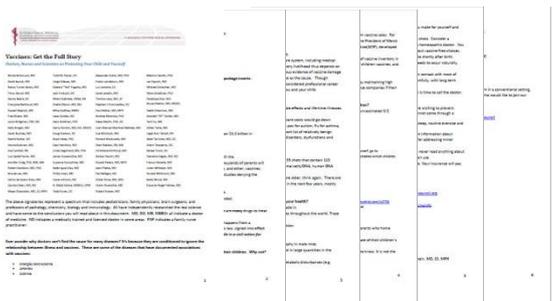
113種類の病原粒子、59種類の化学物質、4種類の動物細胞・DNA、中絶胎児の細胞から取り出した人間のDNA、人アルブミンが含まれています。

・あなたの子供はもう大きいので、ワクチンの心配をすることは無いと思っておられるなら、考え直して下さい。少なくとも20種類のワクチンが、今後数年内に提供される予定で現在開発の途上にあります。その多くは、青年層や成人を標的にしています。



NaturalNews exclusive: International Medical Council on Vaccination refutes vaccine propaganda with myth-busting report

Tuesday, February 01, 2011
by Mike Adams, the Health Ranger
Editor of NaturalNews.com (See all articles...)
Tags: vaccines, science, health news



★ワクチンの成分の紹介：これでもワクチンは**身体に有害**でないのでしょうか？

- ・ワクチンの材料である**動物細胞の培養**で生じた**細菌**や**野生のウィルス**。
- ・**水銀**は、**神経毒**であることが十分に立証されていますが、依然として世界中のインフルエンザ・ワクチン（複数回接種タイプ）に入っています。その他のワクチンにも、微量の**水銀**が**残留**しているものがあります。
- ・**アルミニウム**。**骨、骨髄、脳の変性**を起こす可能性のある**毒**です。

公益財団法人 静岡県産業労働福祉協会

〒421-0113 静岡市駿河区下川原6丁目8番1号

TEL054(258)4855(代) FAX054(258)4403

http://www.kenshin-shizuoka.net

E-mail:info@kenshin-shizuoka.net

- ・猿、犬の腎臓、鶏、牛、人間の細胞。
- ・ホルムアルデヒド（防腐液）。発ガン性物質として知られています。
- ・ポリソルベート 80。メスのネズミで不妊症、オスのネズミで睾丸の萎縮をひきおこすことがわかっています。
- ・豚や牛のゼラチン。アナフィラキシー反応を起こすことがわかっています。 3 種混合ワクチン（はしか、おたふく風邪、風疹）、水疱瘡と帯状疱疹のワクチンに大量に入っています。
- ・グルタミン酸ナトリウム（MSG）。吸引タイプのインフルエンザ・ワクチンに入っています。代謝異常（糖尿病）、発作、その他の神経障害をひきおこすことがわかっています。

★利害の衝突

・ワクチンに関する法律や政府勧告を作成する立場の人々が、ワクチンの売上から利益を得ています。たとえば、ジュリー・ガーバーディング博士は 8 年間 CDC（疾病予防管理センター）長官を務め、現在はメルク社ワクチン事業部の社長となっています。ポール・オフィット博士は ACIP（ワクチン接種に関する諮問委員会）のメンバーですが、自らワクチンを開発し、特許を保持しています。

・CDC によれば、米国の平均的な規模の小児科医院（医師 10 名体制）は、10 万ドル相当以上のワクチンを在庫に抱え、売ろうとしています。これらの医師は外来診療、子供たちへのワクチン接種、さらにその後の反応をみる再診で儲けています。

・報道によれば、米国の小児科医は、患者へのワクチン接種率を高く維持することで HMO（保険維持機構）から年 4 回ボーナスを受け取っており、接種率が下がると保険会社から叱責されるそうです。

★ワクチン接種／未接種の子供の相違を比較した研究はあるのでしょうか？

自閉症の研究・治療団体ジェネレーション・レスキューは、カリフォルニア州とオレゴン州で、子供を持つ親を対象に、ワクチン接種／未接種を比較する調査を行ないました。対象となった子供の数は 17,674 名で、結果は以下の通りです。

- ・ ワクチンを接種した子供のぜんそく罹患率は 120%増
- ・ ワクチンを接種した男児の ADHD 罹患率は 317%増 (*ADHD: Attention Deficit / Hyperactivity Disorder* 注意欠陥・多動性障害 注・丸山)
- ・ ワクチンを接種した男児の神経疾患罹患率は 185%増
- ・ ワクチンを接種した男児の自閉症罹患率は 146%増

女兒は調査対象のうちわずか 20%でした。調査結果の詳細は

<http://www.generationrescue.org/pdf/survey.pdf> でご確認いただけます。ワクチン接種をしていないアーミッシュ（訳注：米国のドイツ系移民からなる宗教集団。移民当時の生活様式を保持し、ワクチン接種をしないことと知られる。）の子供の自閉症罹患率が低いという報告は

<http://www.vaccinationcouncil.org/quick-compare-2/> にあります。自閉症に関するその他の研究については <http://childhealthsafety.wordpress.com/2009/06/03/japvaxautism/> や

<http://childhealthsafety.wordpress.com/2010/02/08/britvaxautism/> をご覧ください。

★米国でワクチン接種を拒否するには

- ・ あなたにもワクチン接種を拒否する権利があります。行使しましょう。
- ・ 公立学校の通学にワクチン接種は必須ではありません。
- ・ すべての州で望まないワクチン接種の拒否権を行使できます。
- ・ ワクチン接種をしないという選択を認め、尊重する医療機関を以下のサイトで見つけましょう。

<http://www.vaccinationcouncil.org/providers.pdf>

健康通信しずおか No.18 につづく